

児童指導員



滝本 郁美さん

3年次編入学 4月生

神奈川県

年代：40歳代(取材時) 卒業：2020年3月

職業：児童指導員

“学び直し”で新たな歩みを

子どもの頃から対人援助職を目指していましたが、病気をきっかけに大学進学を諦めたことがずっと心残りでした。また、子育てをする中、自分の人生を振り返り、自分自身の人生も大切にしたいと考えるようになりました。学び直しをすることで新たな人生をスタートさせたいという思いが高まり、かねてから関心のあった心理学が学べる福祉心理学科に入学をしました。本校は、子どもを実家に預けてスクーリングに通える距離にあることも現実的な条件を兼ね備えていました。

自分に合った学びの確立まで

私は、遠方に住んでいたためオンデマンド・スクーリングを中心に学習をしていました。オンデマンド・スクーリングの良い点は、自分の生活スタイルに合わせられる点だと思います。しかし、学業、仕事、家事・育児の両立はとても大変でした。レポートが大量に溜まることもありましたが、エンジンがかからず何もやりたくない日もありました。自分が定めた期間に卒業するという目標をいつも思い出し、自分に合うレポートの書き方、環境の設定を確立することで乗り越えることが出来ました。卒業したことは、達成感と喜びだけでなく大きな自信に繋がりました。心理学の学びを通して、物事を俯瞰し多角的に捉える力が高まったことは、今現在も私の取り巻くすべての事に役立っています。

卒業年度の学習状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レポート	■					■		■				
スクーリング		■			■				■			
科目修了試験										■		
卒業研究	■											



矢幅 有紀さん

1 年次入学 10 月生

宮城県

年代：20 歳代(取材時) 卒業：2022 年 9 月

職業：公認心理師実務経験施設への就職活動中
(取材時)

卒業はゴールではなく

スタートでした

東北福祉大学を選んだ理由は、3つあります。まずは、カウンセラーになるために必要な知識をしっかりと学べるということ、次にスクーリングに出席して大学生気分を味わいたいということ、さらに仙台のスクーリング会場なら自宅から通える距離という理由で選びました。今後は、支援を必要とする方々の力になるために、公認心理師の実務経験を積める施設に就職し、そこで仕事と勉強をしながら公認心理師の資格取得を目指します。

卒業研究への

取り組みから得たもの

私は卒業研究に2年ほどかけて取り組みましたが、7月末に提出するまでは最終段階として主に「結果」と「考察」の修正を行いました。特に「考察」では、実験結果からどのようなことが考えられるのか、深く考察する必要があったため、今までにないほど集中力を高めて取り組みました。その後、指導担当の先生に完成した原稿をチェックしていただき、提出期限まであと4日というギリギリのところなんとか提出することができました。提出するまで本当に大変でしたが、達成感は言葉に言い表せないほど大きいものでした。

卒業年度の学習状況 ※10月生の1年間は10月～9月

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
レポート						■		■			■	
卒業研究	■											
												卒業